



蓬田

編集と発行 蓬田村公民館 第94号

村の人口

49. 11. 30現在	
人口	男 2,299
	女 2,397
	計 4,696
世帯数	992

S 50. 1. 1



※※※ 謹 賀 新 年 ※※※



公民館長	教育長	委員長	教育委員会	農 業 委 員 会	副 議 長	議 會 議 長	収 入 役	助 役	村 長
坂 本 豊 道	田 中 一 雄	吉 田 清 光		山 館 清	森	柿 崎 喜 代 作	八 戸 倉 次 郎	森 初 男	坂 本 大 博

年頭の辞

村長 坂本 大博



新年御芽出度う御座います親愛なる村民の皆様には御健勝のうち

と云われる如く、この機会に我が村の現在に於ける行政分析をして

願みるに昨年は国内外の情勢は多事多難であった事は日頃のニ

球を期待しなければなりません。そこで新しい年の抱負を申し上げます。

たいと存じます。第一に文教施設であるが先ず中学校の野球場と道路、小学校施設の完備更に成人教育では公民館建設促進が当面の目標であります。第二点は産業開発です基本的に地籍調査、組織的に

又蔬菜生産の育成強化を進めます。第三点は蓬田漁港着工以って本村漁業基地構想の実現を進めます。第四点は国道二八〇号線バイ

均衡の伴なう事が大切です。然し本村の内面的各個人の生計事情から企業誘致が絶対要件です。即ち

村議会に於て企業誘致特別委員会設置を見て早期促進の手筈であります。第五点に民生福祉行政では、

特に消防団の育成は青年教育上大なる期待をもって、たいと存じます。

ます。又約束の患者輸送対策はタクシー会社の開業と国保運営の段階で研究実現の方向で善処します。尚老人憩いの家は改善センターと温泉調査の結果から再検討を要する事でしよう。兎角社会福祉の基本的精神は病みなやめる者への人間愛の温い思いやりの心で御座います。過保護の先きに己の分

杯で明るく豊かで住みよい村造りに、総意の結集が大切であります。結びに村財政運営状況はこんな

新年にあたって

議長 柿崎喜代作



昭和五十年の新春を迎えるに当り一言御挨拶申し上げます。村民の皆様明けましておめでとうござ

に沢山事業を執行致したが余裕充分でありますから決して超過課税等の心配はありません。私は何時もの事は我が村の伝統的美風であり村民一体の和の心に基く先人先輩の功業と、村議会を始め村内各団体組織の理解ある御協力賜と感謝致している次第で御座います。

わらず四十九年を送って何となくホットした気持ちになったという事は、心のどこかに四十九即ち始終苦若しくは四重九という語呂から来る古いイメージがひそんで居たからではないかと自分乍ら苦笑して居る次第であります。まして一面には一國の首相を退陣。而して追いやった金権問題、日本国中を話題の渦に投げ込んだ原子力船むつの問題、どこで解決するとも知らない国鉄のスト問題などムシヤクシヤするような問題が多かったことも原因の一つにはなっているようでありました。

昭和四十九年村のおもなニュース



○ 中学校新築落成
 ○ 農村総合整備モデル事業指定

昭和四十九年から五十二年までに事業完了

○ 中沢、長科、阿弥陀川暗渠排水事業

昭和四十九年から五十一年まで

○ 津軽北部草地開発事業調査

昭和五十年より事業開始
 黒毛和種約三〇〇頭導入

○ 国土調査
 昭和四十九年より事業開始

昭和四十九年度蓬田村表彰者

去る十一月二十一日玉松公民館において功労者表彰式ならびに感謝状授与式を挙行いたしました。表彰者は次のとおりです。

一、功労表彰者

大 沢 保

一、善行表彰者

小田桐 弘明
 越 田 登美子
 福 井 純子

一、感謝状贈呈者

小野 清七
 福 井 晴朝

青年学級開講式

去る十二月十二日午前十時より青年学級開講式が開催されました。

今年、和裁・洋裁・あみものに約五十名の女子青年が参加しており、三月二十日までの約三ヶ月間開設されます。

講 師 洋裁 野藤 絹江

和裁 田中 照江

あみ物

青木 扶美子

一般教養

東青教育事務所

花田 昭一

社会教育指導員

桜田 正三郎



一九七五年農業センサスに

二 協力を!!

農家の皆様二月一日には全国一斉に農業センサスが行われます。この調査の結果は村づくりの基礎となることはもちろん、県なり国なりでいろいろの施策、特に農業を発展させるための施策を進める上で最も基礎的な資料となるものです。

「おとうさんむらを見直すセンサスよ」

「豊かな農業あと押しセンサス」

蓬田村青年団体リー

ダー県外研修リポー

ト

「津軽の海を越え北海道の若者達と友情の輪を広げよう」と蓬田村青年団体リーダー二十二名が十一

月二〇日の晚北海道へ族立ちました。私達が目指す国立大雪青年の家は、北海道のほぼ中央十勝連峰の麓白樺林が続く大自然の中にありました。ここで二泊三日の研修が始まります。

研修は青年期の人生について講義と討議。その後は「青年の生活実態アンケート」の集計結果をもとに、蓬田村の青年が毎日をどのように求めているか、何に生きがいを感じているかなど話し合いました。ふるさとを遠く離れて振り返れば、何故か新鮮な目で物ごとを考えられるのは不思議です。

北海道の歴史は明治と共に始まり百年が過ぎた。凍りついた大地を蹴一本で切り拓いた開拓者の不屈の魂が、吹雪となって空を舞う。私達はこの晩キャンデルの炎に次のことを誓った。

一、私達は清くたくましい日本の青年となることを誓います。

一、私達は謙虚で責任を持つ日本の青年となることを誓います。

一、私達は職業に誇りを持つ日本の青年となることを誓います。

敵愾さと若者のバイタリティにあふれたキャンデルサービス。北海道の若者と一つの輪になって踊るフォークダンス。楽しい思い出一杯です。そして十一月二十三日名残り惜しく手を振りながら雪の舞う国立大雪青年の家を後にしました。

福 田 春 美

50年1月から→保険料は月 1,100円

国民年金シリーズ

二十歳になったら

国民年金に加入しましょう

新年あけましておめでとうございます。昭和三十年生まれの人は今年成人をむかえるわけですが、これからはいろいろな権利を得ると同時に社会に対して義務と責任を果していくこととなります。国民年金に加入することもその一つです。厚生年金など他の公的年金制度に加入していない人は、国民年金に加入することが義務づけられています。

長い人生の生活設計をたて、あなたのライフサイクルを完すべきものにして下さい。



行政相談

行政相談委員

吉崎 慶次郎

新年おめでとうございます。新しい年を迎えると共に地域社会に潜在する苦情をなくし住みよい環境と明るい豊かな生活をしよう。

ご相談取扱内容は各種年金。道路側溝の排水不良。出稼の賃金不払。交通障害賠償等以上一例にすぎないが、なんでもお困りのことがあれば直接又は電話(八二五七)でもご利用して遠慮なくご気軽に相談下さい。

税務だより

源泉所得税の還付の申告は、一月から受付け

源泉徴収された税金や、所得税の予定納税をした税金が納めすぎになっている人は、申告をして還付が受けられます。

この申告は、所得税の確定申告期限とは別に一月から受け付けをしています。確定申告期間中は税務署の窓口が混雑して払戻しに日数がかかりますので、できるだけ一月中か二月十五日頃までに申告されるようにしてください。

申告用紙は、役場税務課に備付けて居ります。

戸籍の窓口

(市町村名は本籍の表示です)

(十月受付分)

◎誕生おめでとうございます。

- 坂本 由佳子(宦・長女)
- 越田 隆(政治・二男)
- 小 鹿 聡(一男・二男)
- 工藤 多都子(育夫・長女)

◎お悔み申し上げます。

- 福井 清衛(郷沢)
- 木村 吉五郎(瀬辺地)
- 坂本 秀松(中沢)
- 越田 栄吉(広瀬)

◎お悔み申し上げます。

- 越田 長太郎(瀬辺地)
- 森 夕ヤ(阿弥陀川)
- 柿崎 みな(広瀬)

◎結婚おめでとうございます。

- 福井 優子(光幸・長女)
- 山口 俊行(義城・二男)
- 木戸 淳子(鉄雄・長女)
- 柿崎 恵(正勝・長女)

◎結婚おめでとうございます。

- 坂本 容子(豊八・二女)
- 三上 高由(幾・長男)
- 吉田 由紀子(常逸・二女)
- 八幡 美香子(稔・長女)
- 八幡 由香子(稔・二女)
- 坂本 義明(早立男・長男)
- 佐井 皇(修・長男)

(十一月受付分)

◎誕生おめでとうございます。

- 坂本 万蔵(長科)
- 細谷 アキ子(蓬田)
- 高橋 啓子(高根)
- 小川 啓子(干葉東)
- 青木 倉子(阿弥陀川)
- 田中 睦子(青森市)
- 藤川 敬二(中沢)
- 小藤 敬二(中沢)
- 青木 俊房(蓬田)
- 鶴谷 秀子(青森市)
- 津村 清一(上北町)
- 木村 和歌子(蓬田)
- 山本 悦子(石川県)
- 斎藤 忠光(広瀬)
- 斎藤 悦子(石川県)
- 佐藤 厚光(青森市)
- 八幡 厚光(高根)

- 高橋 謙一(青森市)
- 三浦 久子(長科)
- 工藤 植生(青森市)
- 掛村 せつ子(郷沢)
- 小池 元(大阪府)
- 村上 京子(蓬田)
- 青木 誠一(阿弥陀川)
- 針生 さつき(宮城県)
- 工藤 和宏(青森市)
- 盛藤 和宏(青森市)
- 近藤 悟(青森市)
- 坂本 悟(中沢)
- 小枝 隆志(藤崎町)
- 高田 美津枝(郷沢)
- 飯田 伝四郎(瀬辺地)
- 泉 セエ子(青森市)